

# 2014年3月期 決算プレゼンテーション

2014年5月27日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0111

FAX:03-3254-7131

<http://www.taxan.co.jp>

 **加賀電子株式会社**

# 2014年3月期 連結業績

# ■ 連結損益計算書の業績比較

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	216,405	100.0%	257,852	100.0%	41,447	19.2%
売上原価	188,943	87.3%	225,330	87.4%	36,387	19.3%
売上総利益	27,462	12.7%	32,522	12.6%	5,060	18.4%
販売費及び一般管理費	26,202	12.1%	27,416	10.6%	1,214	4.6%
営業利益	1,260	0.6%	5,106	2.0%	3,846	305.2%
営業外収益	955	0.4%	1,025	0.4%	70	7.3%
営業外費用	284	0.1%	284	0.1%	0	0.0%
経常利益	1,931	0.9%	5,847	2.3%	3,916	202.8%
特別損益	503	0.2%	-188	-0.1%	-691	-
税金等調整前当期純利益	2,434	1.1%	5,659	2.2%	3,225	132.5%
法人税及び住民税	1,594	0.7%	2,220	0.9%	626	39.3%
法人税等調整額	559	0.26%	-447	-0.2%	-1,006	-
少数株主利益	-164	-0.08%	9	0.0%	173	-
当期純利益	444	0.2%	3,877	1.5%	3,433	773.2%

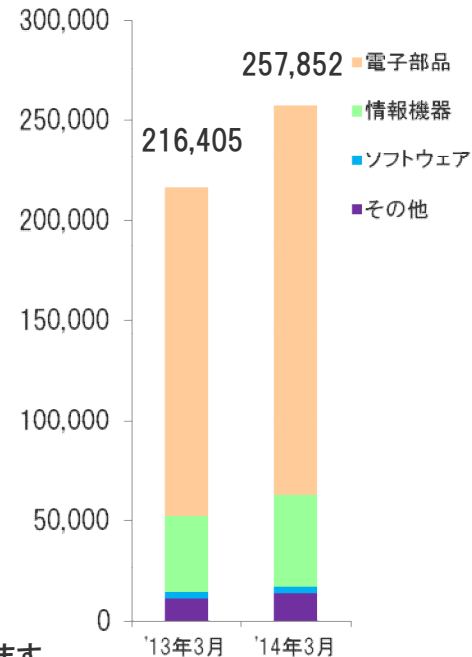
# ■ 連結事業部門別業績比較

(単位:百万円)

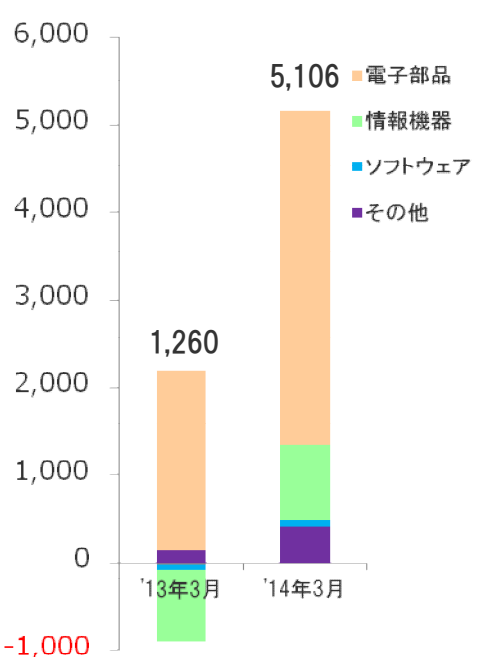
	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	164,164	75.9%	194,782	75.5%	30,618	18.7%
	2,040	161.9%	3,805	74.5%	1,765	86.5%
情報機器	38,305	17.7%	46,505	18.0%	8,200	21.4%
	-836	-66.3%	866	17.0%	1,702	-
ソフトウェア	2,874	1.3%	3,306	1.3%	432	15.0%
	-61	-4.8%	79	1.5%	140	-
その他	11,060	5.1%	13,258	5.1%	2,198	19.9%
	157	12.5%	410	8.0%	253	161.1%
計	216,405	100.0%	257,852	100.0%	41,447	19.2%
	1,260	100.0%	5,106	100.0%	3,846	305.2%

※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

売上高



セグメント利益



## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

国内では、通信機器や車載向けなどの電子部品や半導体の販売が好調に推移したことに加え、電子機器やアミューズメント機器向けEMSなどが伸長しました。海外においても、電子機器向けEMSの需要が順調に伸びた結果、売上高は1,947億82百万円となりました。

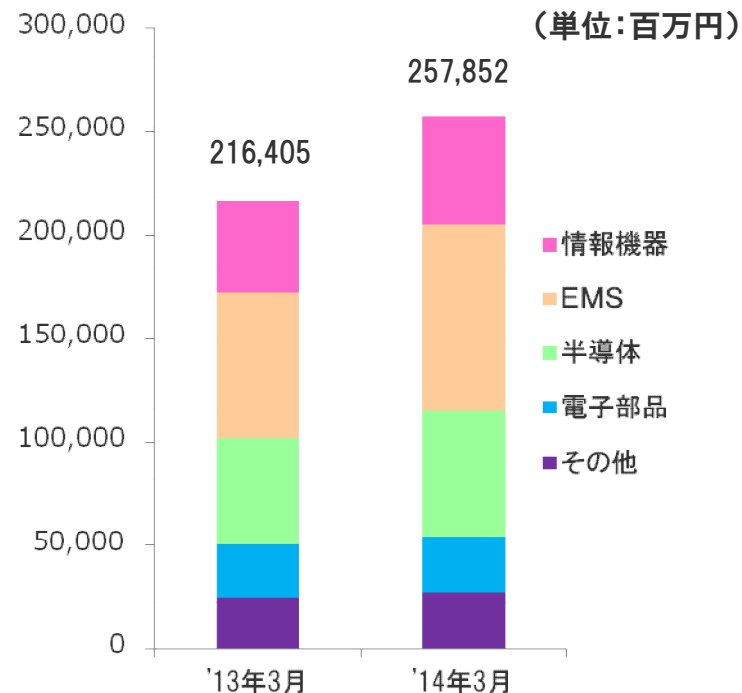
### ■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

コンシューマ向けパソコンなどの需要が低迷いたしました。年度後半におけるWindows XPの買い替え需要や、消費税増税前の駆け込み需要などにより若干回復しました。また、政府の景気対策効果により住宅向け関連商材や環境関連商品の販売が好調に推移した結果、売上高は465億5百万円となりました。

# ■ 連結商品分類別売上高実績【ご参考】

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	44,147	20.4%	52,874	20.5%	8,727	19.8%
EMS	70,546	32.6%	90,123	35.0%	19,577	27.8%
半導体	50,960	23.5%	60,654	23.5%	9,694	19.0%
一般電子部品	25,636	11.8%	26,825	10.4%	1,189	4.6%
その他	25,113	11.6%	27,375	10.6%	2,262	9.0%
計	216,405	100.0%	257,852	100.0%	41,447	19.2%



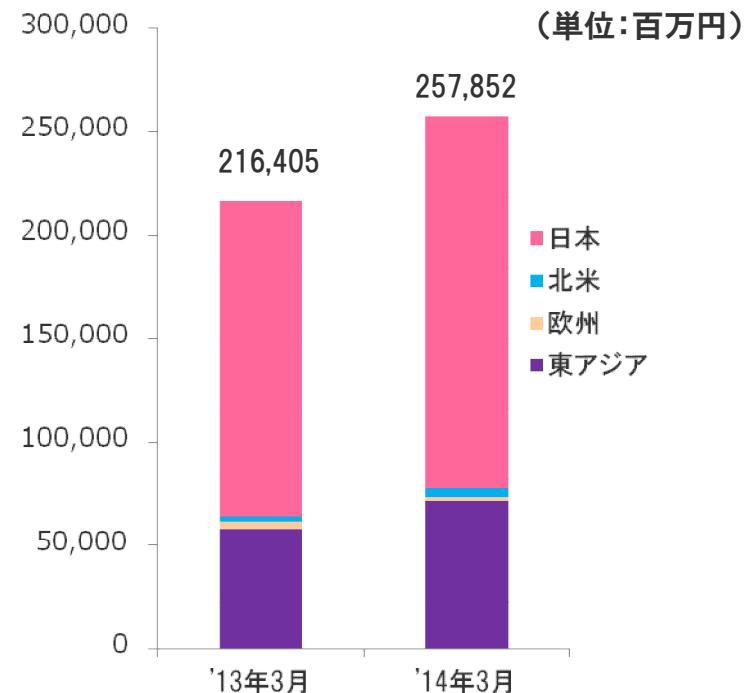
## 主な増減のポイント

- 「情報機器」前年同期比 +87億27百万円(19.8%増)  
住宅向け関連商材や環境関連商品などの販売の増加により、売上高は528億74百万円となりました。
- 「EMS」前年同期比 +195億77百万円(27.8%増)  
海外における電子機器向けEMSの増加などにより、売上高は901億23百万円となりました。
- 「半導体」前年同期比 +96億94百万円(19%増)  
国内における通信機器や車載向けなどの半導体の受注増加などにより、売上高606億54百万円となりました。

# ■地域別売上高実績

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
日本	152,303	70.4%	180,170	69.9%	27,867	18.3%
北米	2,428	1.1%	3,918	1.5%	1,490	61.4%
欧州	3,392	1.6%	2,430	0.9%	-962	-28.4%
東アジア	58,281	26.9%	71,333	27.7%	13,052	22.4%
計	216,405	100.0%	257,852	100.0%	41,447	19.2%



## 主な増減のポイント

### ■「日本」前年同期比 +278億67百万円(18.3%増)

通信機器や車載向けなどの電子部品や半導体の販売および電子機器やアミューズメント機器向けEMSなどが伸長に加え、住宅向け関連商材や環境関連商品などの販売増加により、売上高は1,801億70百万円となりました。

### ■「東アジア」前年同期比 +130億52百万円(22.4%増)

電子機器向けEMSの増加などにより、売上高は713億33百万円となりました。

# ■貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

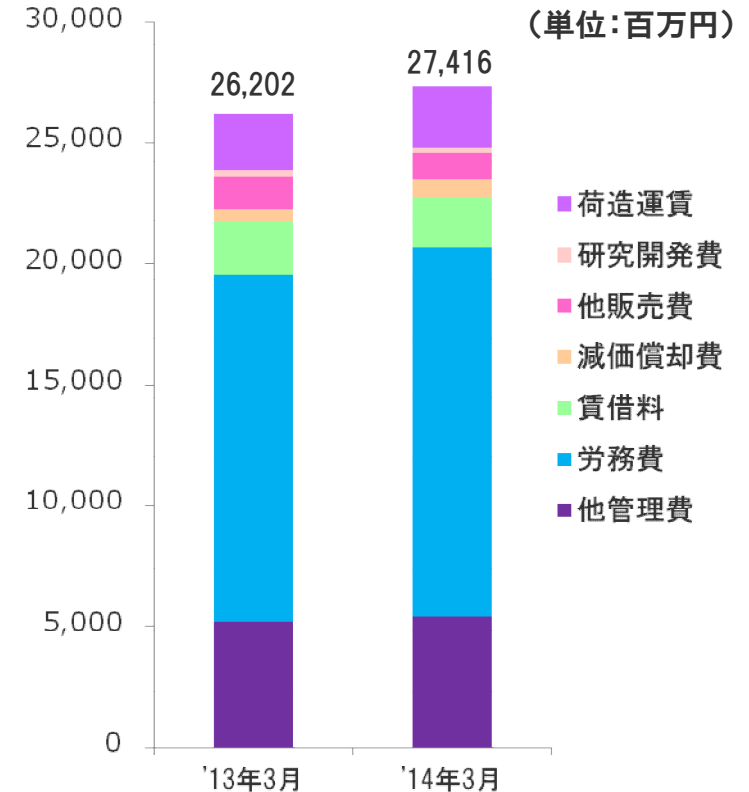
	'13年3月末	'14年3月末	増減額		'13年3月末	'14年3月末	増減額
流動資産	89,945	102,930	12,985	流動負債	53,355	63,410	10,055
現金及び預金	12,258	14,192	1,934	支払手形・買掛金	37,423	41,695	4,272
受取手形・売掛金	54,580	60,667	6,087	短期借入金	9,567	12,172	2,605
商品及び製品	14,075	16,378	2,303	その他	6,365	9,543	3,178
仕掛品	637	848	211	固定負債	9,726	9,792	66
原材料及び貯蔵品	4,065	3,991	-74	長期借入金	5,121	4,681	-440
その他	4,330	6,854	2,524	その他	4,605	5,111	506
				負債合計	63,082	73,202	10,120
				株主資本			0
				資本金	12,133	12,133	0
固定資産	21,943	23,098	1,155	資本剰余金	13,912	13,912	0
有形固定資産	10,559	12,625	2,066	利益剰余金	24,384	27,414	3,030
無形固定資産	2,226	1,533	-693	自己株式	-535	-536	-1
投資等	9,157	8,938	-219	評価・換算差額	-1,238	-137	1,101
				少数株主持分	149	39	-110
				純資産合計	48,806	52,825	4,019
資産合計	111,888	126,028	14,140	負債・純資産合計	111,888	126,028	14,140



# ■販売管理費の状況

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
荷造運賃	2,346	9.0%	2,569	9.4%	223	9.5%
研究開発費	265	1.0%	219	0.8%	-46	-17.4%
その他販売費	1,306	5.0%	1,087	4.0%	-219	-16.8%
販売費計	3,917	14.9%	3,875	14.1%	-42	-1.1%
減価償却費	543	2.1%	768	2.8%	225	41.4%
賃借料	2,160	8.2%	2,061	7.5%	-99	-4.6%
労務費	14,363	54.8%	15,221	55.5%	858	6.0%
その他管理費	5,217	19.9%	5,431	19.8%	214	4.1%
管理費計	22,283	85.0%	23,481	85.6%	1,198	5.4%
販管費合計	26,202	100.0%	27,416	100.0%	1,214	4.6%



## 主な増減のポイント

### ■管理費

- 荷造運賃 : 前年同期比2億23百万円増加。売上高の増加による。
- 減価償却費 : 前年同期比2億25百万円増加。資産の増加による。
- 労務費 : 前年同期比8億58百万円増加。給与制度改訂による。



# ■連結キャッシュフロー計算書(2013年3月期及び2014年3月期)の比較

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	7,041	3,334	-3,707
投資活動によるキャッシュフロー	-4,910	-3,339	1,571
財務活動によるキャッシュフロー	-403	1,024	1,427
現金等に関わる換算差額	456	463	7
現金等の減少額	2,183	1,482	-701
現金等の期首残高	9,695	11,878	2,183
現金等の期末残高	11,878	13,361	1,483

## 主なポイント

- 営業活動によるキャッシュフロー: 税引前当期純利益の獲得などにより、33億34百万円の収入となりました。
- 投資活動によるキャッシュフロー: 有形固定資産の取得などにより33億39百万円の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュフロー: 短期借入金の増加などにより、10億24百万円の収入となりました。

# 2015年3月期 通期連結業績予想

# ■通期連結業績予想

## 連結損益計算書比較(2014年3月期実績⇒2015年3月期予想)

(単位:百万円)

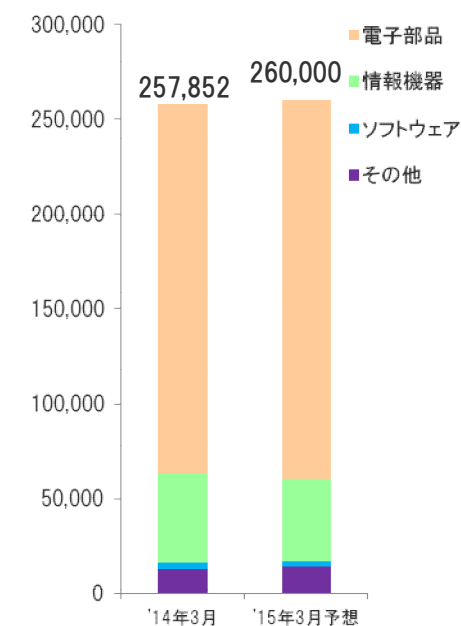
	2014年3月期(実績)		2015年3月期(予想)		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	257,852	100.0%	260,000	100.0%	2,148	0.8%
売上原価	225,330	87.4%	227,200	87.4%	1,870	0.8%
売上総利益	32,522	12.6%	32,800	12.6%	278	0.9%
販売費及び一般管理費	27,416	10.6%	27,500	10.6%	84	0.3%
営業利益	5,106	2.0%	5,300	2.0%	194	3.8%
営業外損益	741	0.3%	700	0.3%	-41	-5.5%
経常利益	5,847	2.3%	6,000	2.3%	153	2.6%
当期純利益	3,877	1.7%	4,000	1.8%	123	3.2%

# ■ 連結事業部門別業績予想

(単位:百万円)

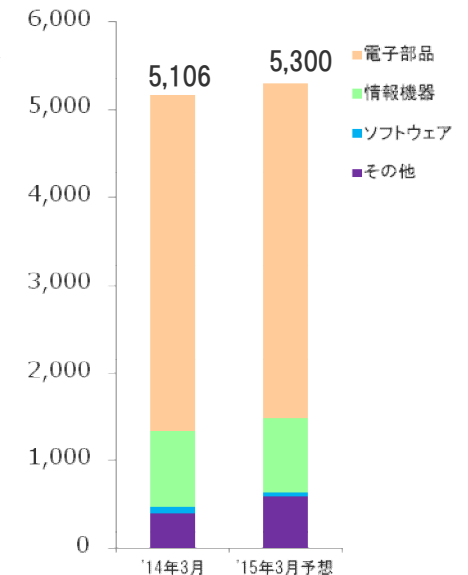
	2014年3月期通期		2015年3月期通期(予想)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	194,782	75.5%	200,000	76.9%	5,218	2.7%
	3,805	74.5%	3,850	72.6%	45	1.2%
情報機器	46,505	18.0%	43,000	16.5%	-3,505	-7.5%
	866	17.0%	800	15.1%	-66	-7.6%
ソフトウェア	3,306	1.3%	3,000	1.2%	-306	-9.3%
	79	1.5%	150	2.8%	71	89.9%
その他	13,258	5.1%	14,000	5.4%	742	5.6%
	410	8.0%	500	9.4%	90	22.0%
計	257,852	100.0%	260,000	100.0%	2,148	0.8%
	5,106	100.0%	5,300	100.0%	194	3.8%

売上高



(単位:百万円)

セグメント利益



※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

国内におけるEMSおよび半導体の販売や海外におけるEMSの拡大などより前年の実績を上回る見込みです。

### ■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

既存商品の拡販や住宅向け関連商材および教育機関向けのパソコン・ソフトウェアの需要は継続するものの、消費税増税にともなうスポット取引が減少したことにより、前年比減収減益の見込みです。

### ■「ソフトウェア」(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

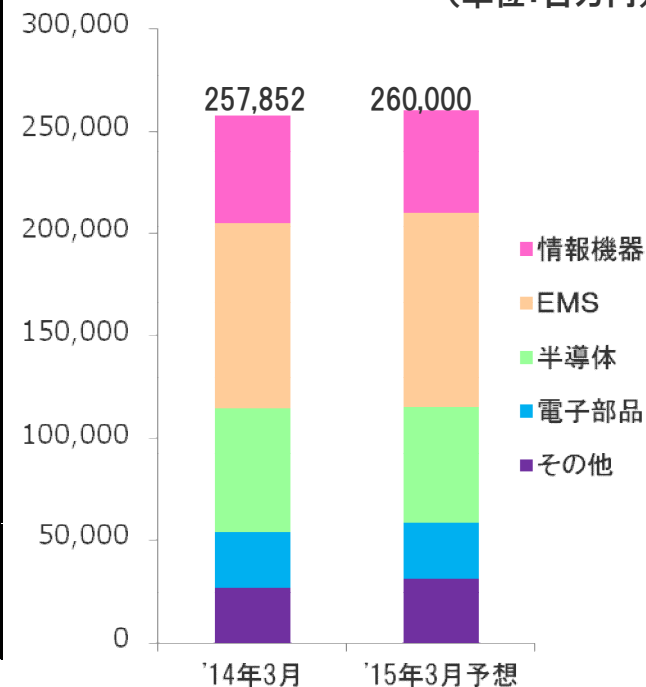
サイバーフロント(株)の解散により前年比減収増益の見込みです。

# ■ 連結商品分類別売上高予想【ご参考】

(単位:百万円)

	2014年3月期(実績)		2015年3月期(予想)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	52,874	20.5%	49,800	19.2%	-3,074	-5.8%
EMS	90,123	35.0%	94,800	36.5%	4,677	5.2%
半導体	60,654	23.5%	56,200	21.6%	-4,454	-7.3%
一般電子部品	26,825	10.4%	27,800	10.7%	975	3.6%
その他	27,375	10.6%	31,400	12.1%	4,025	14.7%
計	257,852	100.0%	260,000	100.0%	2,148	0.8%

(単位:百万円)



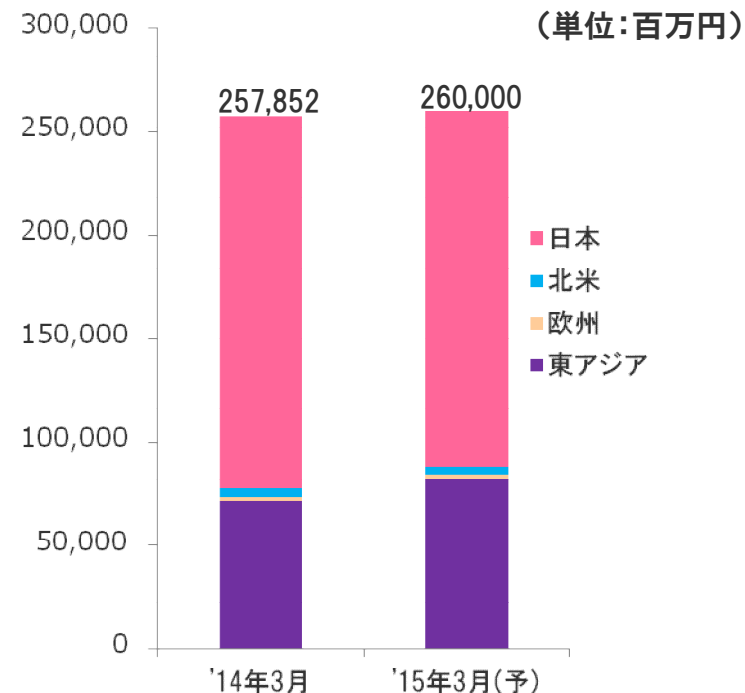
## 主な増減のポイント

- 「情報機器」: 消費税増税前の買い替え需要によるスポット取引の減少などにより、前年同期比-30億74百万円(-5.8%)。
- 「EMS」: 国内外におけるEMSの増加により、前年同期比+46億77百万円(+5.2%)。
- 「半導体」: 取扱商品の商流の変更などにより、前年同期比-44億54百万円(-7.3%)。
- 「一般電子部品」: 通信機器向けや車載向けなどの販売により前年同期比+9億75百万円(+3.6%)。
- 「その他」: アミューズメント施設向けゲーム機の販売やゴルフ用品販売事業などの増加により、前年同期比+40億25百万円(+14.7%)。

# ■地域別売上高実績予想

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期(予想)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
日本	180,170	69.9%	171,600	66.0%	-8,570	-4.8%
北米	3,918	1.5%	4,000	1.5%	82	2.1%
欧州	2,430	0.9%	2,400	0.9%	-30	-1.2%
東アジア	71,833	27.9%	82,000	31.5%	10,167	14.2%
計	257,852	100.0%	260,000	100.0%	2,148	0.8%



## 主な増減のポイント

### ■「日本」

取扱商材の商流変更や消費税増税前のスポット取引の減少などにより、前年同期比-85億70百万円 (-4.8%)。

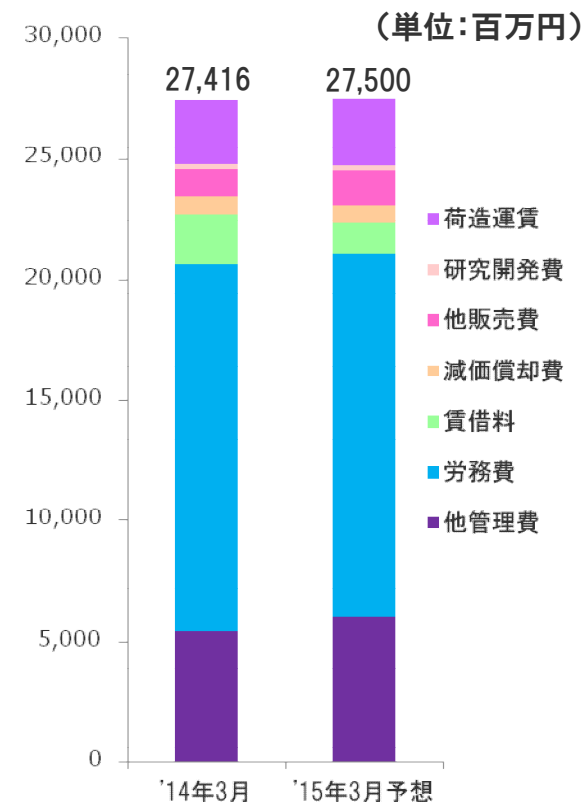
### ■「東アジア」

電子部品事業(電子部品・半導体・EMS)の受注好調により、前年同期比+101億67百万円 (+14.2%)。

# ■販売管理費の状況

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期(予想)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,569	9.4%	2,750	10.0%	181
研究開発費	219	0.8%	220	0.8%	1
その他販売費	1,087	4.0%	1,330	4.8%	243
<b>販売費計</b>	<b>3,875</b>	<b>14.1%</b>	<b>4,300</b>	<b>15.6%</b>	<b>425</b>
減価償却費	768	2.8%	750	2.7%	-18
賃借料	2,061	7.5%	1,250	4.5%	-811
労務費	15,221	55.5%	15,000	54.5%	-221
その他管理費	5,431	19.8%	6,200	22.5%	769
<b>管理費計</b>	<b>23,481</b>	<b>85.6%</b>	<b>23,200</b>	<b>84.4%</b>	<b>-281</b>
<b>販管費合計</b>	<b>27,416</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,500</b>	<b>100.0%</b>	<b>84</b>



## 主な増減のポイント

### ■販売管理費

- 荷造運賃 : 前年同期比1億81百万円増加。売上高の増加による。
- 賃借料 : 前年同期比-8億20百万円減少。本社移転により賃料減少。
- 労務費 : 前年同期比-2億21百万円減少。



# トピックス

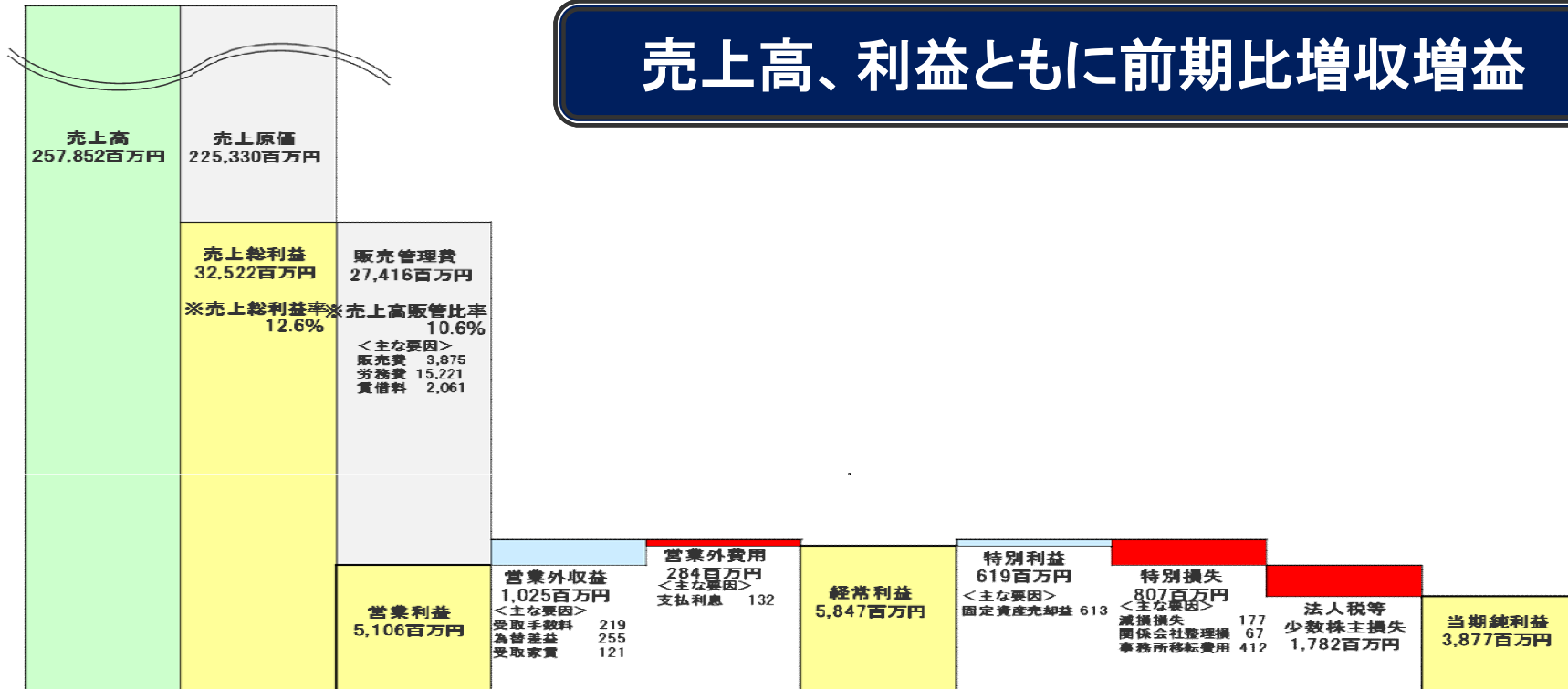
①2014年3月期の取り組み

②2015年3月期の経営方針

# ①2014年3月期の取り組み

## 2014年3月期業績

売上高、利益ともに前期比増収増益



- 市場環境の回復
- 国内 車載や通信機器向け電子部品・半導体の売上高増加
- 海外 EMS事業の伸長
  - ① 日系企業との取引拡大
  - ② 海外拠点の拡充(ADデバイス上海、加賀電子科技(蘇州)等)
- ウィンドウズXPや消費税増税前の買い替え需要によるPC・周辺機器の売上高回復
- 業績不振子会社の回復

# ① 2014年3月期の取り組み

2013年10月1日付「加賀デバイス」と「エー・ディ・エム」が合併し、  
新生「加賀デバイス」が誕生

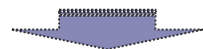
## 加賀デバイス株式会社

三菱電機・ルネサスエレクトロニクス社などの特約店として、半導体および各種電子部品・電子機器などを販売。

+

## エー・ディ・エム株式会社

アナログ・デバイセズ社・オムニビジョンテクノロジー社などの販売代理店として、半導体および各種電子部品・電子機器などを販売。



## 加賀デバイス株式会社

2014年3月期 売上高 329億円(単純合算)

代表者 松下茂

事業内容 三菱電機・ルネサスエレクトロニクスなどの特約店やアナログ・デバイセズ社、オムニビジョンテクノロジー社などの販売代理店として半導体および各種電子部品・電子機器などを販売。

資本金 3億95百万円

関係会社 KAGA DEVICES(H.K)LIMITED/加賀貿易(深圳)有限公司/KAGA DEVICES INDIA PRIVATE LIMITED

### <合併によるシナジー効果>

- ◆ 顧客および取扱い製品の共有による拡充(売上高拡大)。
- ◆ 海外拠点の拡充(香港、シンセン、インド、シンガポール)。
- ◆ 技術部門の共有化による機能拡充(新規ビジネスの創出)。

合併によるシナジー効果により、**3年後の売上高は500億円に。**

## ① 2014年3月期の取り組み

### 2013年12月19日 サイバーフロントの解散を決議

2011年4月にサイバーフロントの株式を取得。事業の立て直しを進めてきたが、立て直しは困難であると判断した結果、解散決議に至る。現在解散手続き進行中。

#### サイバーフロント株式会社

代表者	清算人 榎本 聡
事業内容	ゲームソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの企画、開発、製作および販売等
資本金	1億円

# ① 2014年3月期の取り組み

## アミューズメント施設向けマルチ電子マネー決済システム実証実験実施

加賀アミューズメント（株）は、ヤマトホールディングスグループのヤマトシステム開発（株）とヤマトフィナンシャル（株）と共同でゲームセンターなどのアミューズメント施設における電子マネー決済システムの実証実験を実施。今後は、これからの世の中に合ったアミューズメント業界の特徴を組み入れた使い勝手の良いトータルインフラの提供を目指し、当システムの本格導入に向け協議、検討を進めていく予定。



### 当実証実験用マルチ電子マネー決済システムの特徴

- ①複数の電子マネーに対応したシステム  
・Suica ・PASMO ・nanaco ・WAON ・楽天Edy
- ②柔軟なプレイ単価の設定を実現
- ③無人オペレーションでの稼働を実現
- ④各種電子マネー事業者のポイントサービスを提供
- ⑤ゲーム機器それぞれに設置可能なコンパクトな端末

### マルチ電子マネー決済実証実験端末

支払い金額設定ボタン

電子マネー種別選択ボタン

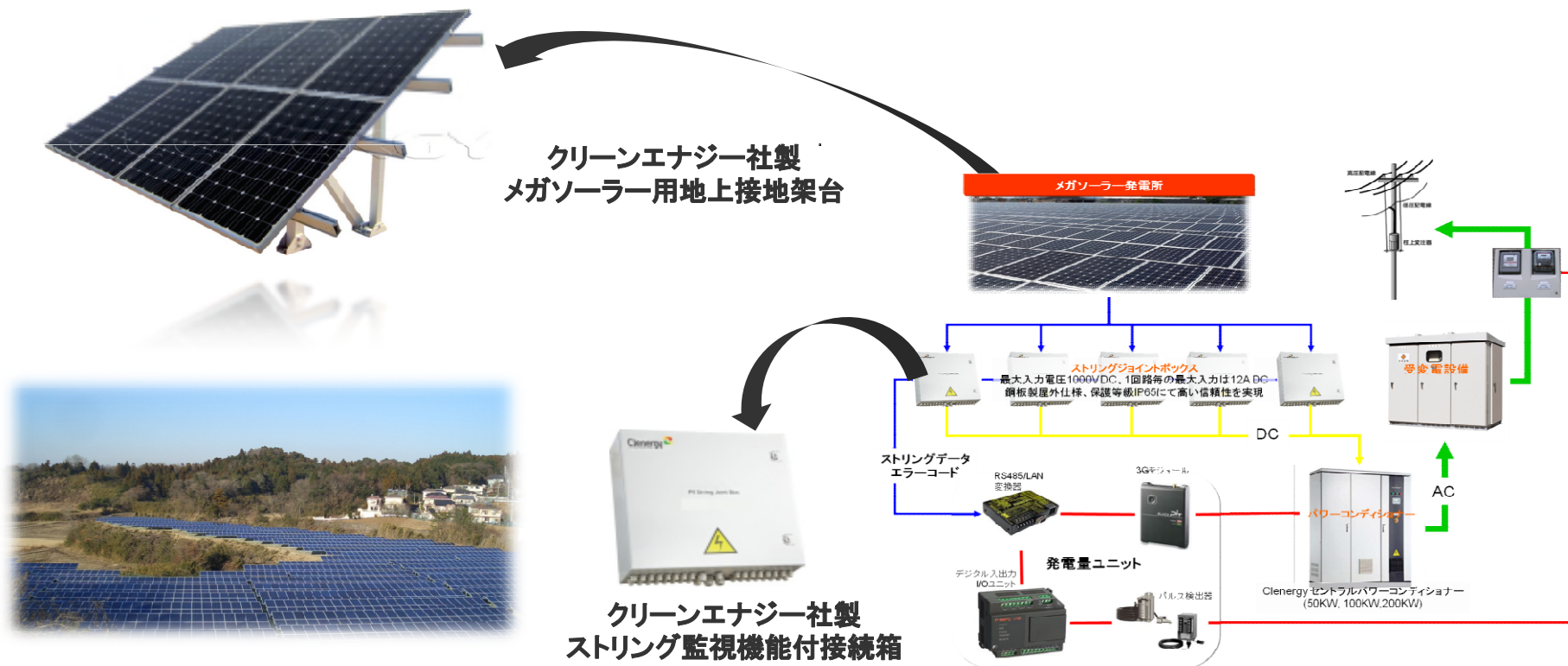
状態LED (誘導メッセージ)

※端末画像はイメージです。

# ① 2014年3月期の取り組み

## 太陽光発電(メガソーラー)遠隔監視サービス事業に参入

加賀デバイス(株)は、平成26年4月から太陽光発電システム向け接続箱とクラウド監視サービスの提供を開始。同サービス事業は、豪州クリーンエネルギー社製のストリング監視付き接続箱を設置し、ストリング・パワーコンディショナー・電力メーターの各情報を遠隔監視するとともに、格安のコストの実現が可能となる。



## ②2015年3月期の経営方針

### 事業環境

#### 当社グループを取り巻く環境

- 日本の半導体市場は一定の需要はあるが、今後の成長性は見込めない。
- 車載、環境・エネルギー、無線・通信、スマホ・タブレットは引き続き好調維持。

#### 当社グループの施策

##### ①成長市場に注力

- 車載
- 無線・通信
- 環境・エネルギー
- メディカル・ヘルスケア
- 社会インフラ

##### ②海外ビジネスの拡大

- 東アジア、東南アジアの拠点強化
- 日系メーカーの海外進出に合わせたサービス拠点の拡充
- ローカル企業との取引拡大



## ② 2015年3月期の経営方針

### 無駄をなくした効率的な経営

#### (施策) 業績不振子会社の改善

2013年3月期  
赤字子会社 15社/50社  
赤字子会社当期純損失 29億円



2014年3月期  
赤字子会社 11社/50社  
赤字子会社当期純損失 12億円

### 2014年3月期 業績回復の要因→子会社の赤字大幅減少



#### 業績不振子会社の取り組み

- 加賀コンポーネント 不採算事業の整理、国内生産縮小、グループ会社との協業。
- 加賀ハイテック 組織の改革、人員構成の見直し、事業の選択により赤字体質を改善。
- エー・ディ・エム 2013年10月 加賀デバイスと合併。新体制による合理化推進。
- サイバーフロント 2013年12月 解散決議。
- エスアイエレクトロニクス 加賀電子の技術部門を移管し、技術開発案件を強化。
- 加賀クリエイト 事業の選択と集中(イベント、コンテンツ事業を別子会社に移管しゲーム事業に注力)。

- 既存事業の見直し。「無駄な贅肉」を削ぎ落とす。→利益が出る体質。
- 現在、外部コンサルティングを入れて、経営体制の見直しを実施中。

## ②2015年3月期の経営方針

# 加賀電子グループ2015年3月期経営方針

経営理念である「すべてはお客様のために」を基本として、既定路線を継承。

### 経営方針

**利益重視経営。經常利益100億円企業を目指す。**



- 当社グループのオリジナリティを発揮し、各事業における利益率の底上げを行う。
- **無駄をなくした効率的な経営**
  - ・不採算事業の立て直しと撤退。
  - ・経費削減の徹底。



## 加賀電子株式会社

〒101-8629  
東京都千代田区神田松永町20番地

問合せ先: 広報室  
TEL: 03-5657-0106  
FAX: 03-3254-7132  
E-mail: [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<http://www.taxan.co.jp>